



西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2021年  
8月5日  
発行

第99回

「日本株上昇を見込む3つの理由」

## ～リスクは海外に～

### 初めに

日本株は頭の重い動きを続けています。新型コロナによる感染拡大が止まらないとあればそれも仕方ないでしょう。しかしその一方で企業業績は絶好調、4-6月期の決算発表では過去最高を更新する企業が相次ぎました。自分は、日本株は過小評価されており、上昇してしかるべしと考えていますが、如何でしょうか。今回は日本株の見通しについて考えます。ポイントは3つあります。コロナ対策・経済・企業業績の3つです。まずはコロナ対策です。

### コロナ対策は長期戦で

一番目。先日河野行政改革相が今年2回ワクチン接種を受けた人は来年もう1回受けてもらうことになる発言をしていました。欧州でも英独仏などで3回接種が計画されているようです。ワクチンは効果があるものの時間が経てば弱まります。そのため切れ目なくワクチンを接種しようという考えがベースになっています。デルタ株の出現により一旦コロナが収まったと思われた米英でも再燃している状況を見ると、このようなある程度中期的な観点からコロナと対峙することは必要でしょう。この他にも日本では治療薬や国産ワクチンの開発が進んでいます。このようにコロナ対策に中期的な視野が取り入れられつつあることは今後のコロナの被害を弱める効果があると期待しています。

### 国内経済は年末にかけ加速

二番目は経済です。感染拡大に歯止めがかからないことから経済の回復が進まないと見られている日本ですが、ここから年末にかけ回復に転じると見えています。8月3日付け日本経済新聞はお盆期間の新幹線や国内線の予約が前年比で大きく増えていることを報じました。長引く自粛疲れでこれ以上はという方も多いようです。特にワクチン接種を終えた高齢者の方は旅行などに積極的と聞きます。更に今後期待されるのは政府の経済対策です。米国の景気が急回復した大きな理由はバイデン大統領による大規模な経済対策です。日本ではGoToキャンペーン以降、経済対策的なものは打ち出されていません。しかし今年は秋に総選挙を控えています。政府が経済対策を打ち出す可能性は高いでしょう。これにより日本経済は急加速する可能性もあると見えています。

### 企業業績は好調

三番目は企業業績です。4-6月の決算はほぼ出そろいましたがトヨタやソニー、日立など概ね好決算となっています。この好決算の理由としては個社ベースでは色々ありますが結局は世界的に景気が良いということになると思います。以前、当レポートでは世界経済が強いと思われることからインフレ圧力が高まる可能性があるかと述べました。今回の決算発表ではそうした傾向が見られます。例えば大手商社ですが資源価格上昇の効果から各社とも好決算を発表しました。日本製鉄などについても同様のことが言えます。海運三社は今期見通しを最高益に上方修正しました。好調なコンテナ船事業が理由です。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。

## 日本株は上昇へ

以上述べてきましたがコロナ対策の中期的なものへのシフト、今後の景気の回復、好調な企業業績の三つの理由から日本株は近いうちにボックス圏を抜け出し上昇に転じると予想しています。

## リスクは海外に

最後にリスクについて触れておきます。国内にはそれほどリスクはありませんがむしろ海外に、リスク要因が多いと見ています。筆頭は中国です。最近、習近平国家主席の政策が一段と場当たりのようになっており、既に世界の株式市場にも悪影響を与えつつあります。米国のテーパリングもそうです。インフレ圧力が解消されておらずテーパリングが早まる可能性があります。こうしたリスクには注意すべきでしょう。